

# 神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>

神奈川県衛生研究所

## 第 173 号

平成 19 年 7 月 4 日発行

病原体検出は平成 19 年 3 月分

### 話題

## 病原体取扱い規制

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律」に規定された病原体関連の条文が、平成 19 年 6 月 1 日施行となりました。

### 感染症法改正の趣旨

- 我が国においては、国民の生命及び健康に影響を与えるおそれがある感染症の病原体等の管理が、研究者、施設管理者等の自主性に委ねられており、その適正な管理体制は、必ずしも確立していない状況にありました。
- 感染症の予防に関する施策の国際的な動向にかんがみ、生物テロに使用されるおそれのある病原体等の管理の強化が重要な課題となっていました。
- このため、病原体等を病原性、国民の生命及び健康に対する影響等に応じて、一種から四種までに分類し、所持、輸入等の禁止、許可、届出、基準の遵守等の規制を設け、生物テロを含む人為的な感染症の発生及びまん延を防止する対策の強化を図るものです。

### 規制の概要

- 痘そうウイルス、クリミア・コンゴ出血熱ウイルス等の一種病原体は、原則何人も所持することはできません。
- ペスト菌、ボツリヌス菌、炭疽菌等の二種病原体は、事業所ごとに厚生労働大臣の許可を受けなければ、原則所持することはできません。
- 多剤耐性結核菌、狂犬病ウイルス等の三種病原体を所持するには、所持の開始の日から 7 日以内に三種病原体等の種類等を事業所ごとに厚生労働大臣に届け出なければなりません。
- コレラ菌、赤痢菌、腸管出血性大腸菌等の四種病原体の所持は、厚生労働大臣の許可や届出は不要ですが、病原体管理の施設基準や、保管等の基準を遵守しなければなりません。
- 病原体所持者は、感染症発生予防規定を作成し、病原体等取扱主任者を選任し、従事者への教育訓練を行い、病原体の保管は、施設の位置、構造及び設備の技術上の基準や病原体等の保管等の技術上の基準に適合していなければなりません。また、二、三種病原体を運搬するには公安委員会の運搬証明書の交付を受けなければなりません。

詳細は：<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou17/03.html>

(企画情報部)

# 病原体検出

表 1 病原体検出状況(保健所等別) 平成 19 年 3 月

	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査													病原体定点※1				合計			
	平塚保健所	鎌倉保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	津久井保健所	県域外発生関連調査	横須賀市保健所	相模原市保健所	藤沢市保健所	計	小児科	インフルエンザ		眼科	基幹	その他の医療機関
病原細菌	その他の大腸菌 ※2			1											1						1
	カンピロバクター・ジェジュニ			1											1						1
	A群溶血レンサ球菌												1		1	3					4
	計			2									1		3	3					6
ウイルス・リケッチア	インフルエンザ AH3											14		14	3	8					25
	インフルエンザ B			2								6		8	2	8					18
	コクサッキー A16														1						1
	アデノ 37																	1			1
	ロタ														6				1		7
	ノロ	2	9	4		2	4		3			7		1	32	5					37
	サポ															1					1
計	2	9	6		2	4		3			7	20	1	54	18	16	1	1		90	
合計	2	9	8		2	4		3			7	20	2	57	21	16	1	1		96	

※1：病原体定点の検出数は横須賀市、相模原市、藤沢市も含めた定点の合計を計上した。

※2：EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）

## <検出状況>

- ・ 3月の病原体検出数は合計 96 件、細菌 6 件、ウイルス 90 件であった。
- ・ 感染症および食中毒発生に伴う行政検査等では細菌が 3 件、ウイルスが 54 件検出された。
- ・ 病原体定点等の医療機関からの検査では、細菌が 3 件、ウイルスが 36 件検出された。細菌は小児科定点から、ウイルスは小児科定点、インフルエンザ定点、眼科定点及び基幹定点からの検出であった。
- ・ 保健所管内別の検出状況は表 1 のとおりである。

表 2 病原細菌検出状況(臨床診断別) 平成 19 年 3 月

	感 染 症										食 中 毒	有 症 苦 情	(依 保 菌 者 検 査 検 査 1 査)	合 計
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	百 日 咳	淋 菌 感 染 症	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎				
検 査 検 体 数						5	10				22	24	2,029	2,075
その他の大腸菌 ※2											1			1
カンピロバクター・ジェジュニ											1			1
A群溶血レンサ球菌						4								4
計						4					2			6

※1：依頼検査(保菌者検査)は、横須賀市、相模原市、藤沢市を除く。

海外渡航者数は(内数)として記載

※2：EHEC(VTEC)・EPEC・EIEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

<検出状況>

- ・ A群溶血レンサ球菌が、相模原市の小児科定点より4件(T3;3株、T12;1株)検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別) 平成19年3月

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成18年計	1月	2月	3月	平成19年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)	3	4	6	1	3	6	7	1	16	1	49				
毒素原性大腸菌(ETEC)						5	2	2			9				
その他の大腸菌	1	3		2		1	1	1	1	11	28	1	4	1	6
サルモネラ O4群					1				1		2		1		1
サルモネラ O7群				1	1						6				
サルモネラ O8群	1			1							2				
サルモネラ O9群	1							4			5	1			1
腸炎ビブリオ						3					3				
プレジオモナス・シゲロイデス												1			1
カンピロバクター・ジェジュニ	7	3	1	8	2	8	1	6	2		38	1	4	1	6
カンピロバクター・コリ				1							1				
黄色ブドウ球菌			1			4				7	12	4			4
ウエルシュ菌		80							2	11	93	1	7		8
セレウス菌										1	1				
赤痢菌 ( <i>S. flexneri</i> )													1		
赤痢菌 ( <i>S. sonnei</i> )						1	1	1		2	5				
A群溶血レンサ球菌	5	3	6	14	2					1	39		1	4	5
コリネバクテリウム・ウルセランス					1						1				
淋菌					3	2	1				6				
マイコプラズマ・ニューモニエ								1			1				
レジオネラ・ニューモフィラ				2	2	9	7	3	2	1	27				
合計	18	93	14	30	15	39	20	19	24	35	328	9	18	6	33

※：EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）

< 検出状況 >

・ カンピロバクター・ジェジュニが、2月に引き続き3月も1件検出された。平成18年12月を除いて3月から毎月検出されている。

表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断名別) 平成19年3月

	ウエストナイル熱	つつが虫病	デング熱	急性脳炎	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	風しん	ヘルパンギーナ	を麻しん(成人麻しん)除く	流行性耳下腺炎	インフルエンザ様	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	成人麻しん	その他	食中毒様	合計
取り扱い検査件数				1			48	1					49	1			9	46	155
インフルエンザ AH3													25						25
インフルエンザ B													18						18
コクサッキー A16								1											1
アデノ 37														1					1
ロタ							7												7
ノロ							17											20	37
サポ							1												1
計							25	1					43	1				20	90

< 検出状況 >

- ・ ノロウイルス感染による集団発生は3月に入ってやや減少したが、県域では7事例発生した。  
感染性胃腸炎患者から、定点医療機関からの5件を含めてノロウイルスが17件検出され、食中毒等からは20件検出された。
- ・ 3月のインフルエンザウイルスの検出数はAH3型25件、B型18件であった。
- ・ 感染性胃腸炎患者から、ロタウイルスが7件、サポウイルスが1件検出された。

表5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別) 平成19年3月

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成18年計	1月	2月	3月	平成19年累計
インフルエンザ AH1	6										45				
インフルエンザ AH3	1										173	10	44	25	79
インフルエンザ B			2	1							3	25	11	18	54
パラインフルエンザ 1											2				
パラインフルエンザ 2									1		1				
R S										1	2				
コクサッキー A4			4	15	5	1					25				
コクサッキー A5					1			2	1	1	5				
コクサッキー A10					1	1					2				
コクサッキー A16			1	3	7	8	6	5	2	1	33			1	1
コクサッキー B3							1				1				
コクサッキー B5					1	1		2	1		5				
エコー 18				1		3	4				8				
エコー 30					1						1				
エンテロ 71					1		1		1	1	4	1			1
ムンプス		2	1				3				7				
アデノ 1	1										1				
アデノ 2											1		1		1
アデノ 3	2	4	3	1	4		1				18	1			1
アデノ 4					1						2		1		1
アデノ 37											1			1	1
アデノ 40/41				2							2				
アデノ(型未決定)		1								1	2	1			1
単純ヘルペス 1		1	1			1		1	2	1	8	3	1		4
ロ タ	22	9								1	33	1	2	7	10
小 型 球 形				1							1				
ノ ロ	13	36	4					10	248	333	737	86	60	37	183
サ ボ			1							4	5	2	4	1	7
デ ン グ							1				1				
未 同 定					1	1	1				3				
リエンチア ツツガムシ								1	2	1	4				
合 計	45	53	17	24	23	16	18	21	259	309	1,136	130	124	90	344

< 検出状況 >

- ・ 3月に入り発生動向調査ではインフルエンザの患者報告数は最多であったが、インフルエンザウイルスの検出数ではAH3型は前月より減少し、B型はやや増加した。
- ・ ノロウイルスは、3月は前月の検出数を下回り、37件検出された。
- ・ ロタウイルス、サポウイルスが12月から毎月検出されている。

表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況 平成19年3月

(神奈川県衛生研究所検出)

	病原細菌検出数及び検査検体数													
	食 品						環 境							
	3月			1-3月累計			3月				1-3月累計			
	食中毒等	収去検査	その他	食中毒等	収去検査	その他	海水 <sup>※3</sup>	浴槽水等	食中毒等	その他	海水 <sup>※3</sup>	浴槽水等	食中毒等	その他
検査検体数	57	20	5	136	130	21			59	14		16	170	14
サルモネラ 04群			2 <sup>※1</sup>		2	2								
サルモネラ 07群			2 <sup>※2</sup>		4	3								
カンピロバクター・ジェジュニ			4			6								
カンピロバクター・コリ			1			1								
レジオネラ・ニューモフィラ 6群												1		
計			5		6	12						1		

※1：カンピロバクター・ジェジュニと複数分離2件

※2：カンピロバクター・ジェジュニと複数分離1件、カンピロバクター・コリと複数分離1件

※3：河川水を含む。